

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-7500(P2008-7500A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2007-118440(P2007-118440)

【国際特許分類】

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 D 213/79 (2006.01)

【F I】

C 0 7 F 15/00 C S P E

C 0 7 F 15/00 F

C 0 9 K 11/06 6 6 0

H 0 5 B 33/14 B

C 0 7 D 213/79

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

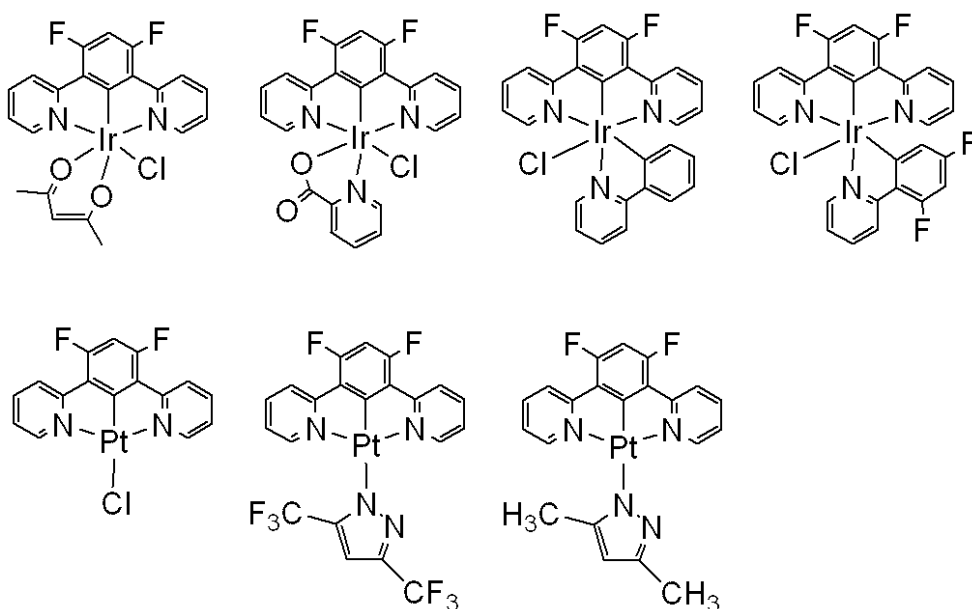
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式のいずれかで示されることを特徴とする金属錯体。

【化 1】



【請求項 2】

陽極と陰極と、該陽極と該陰極の間に配置される有機化合物層とを有する有機発光素子において、前記有機化合物層が請求項 1 に記載の金属錯体を含むことを特徴とする有機発

光素子。

【請求項 3】

発光ピーク波長が 500 nm 以下であることを特徴とする請求項 2 に記載の有機発光素子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

即ち、本発明の金属錯体は、下記式のいずれかで示されることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

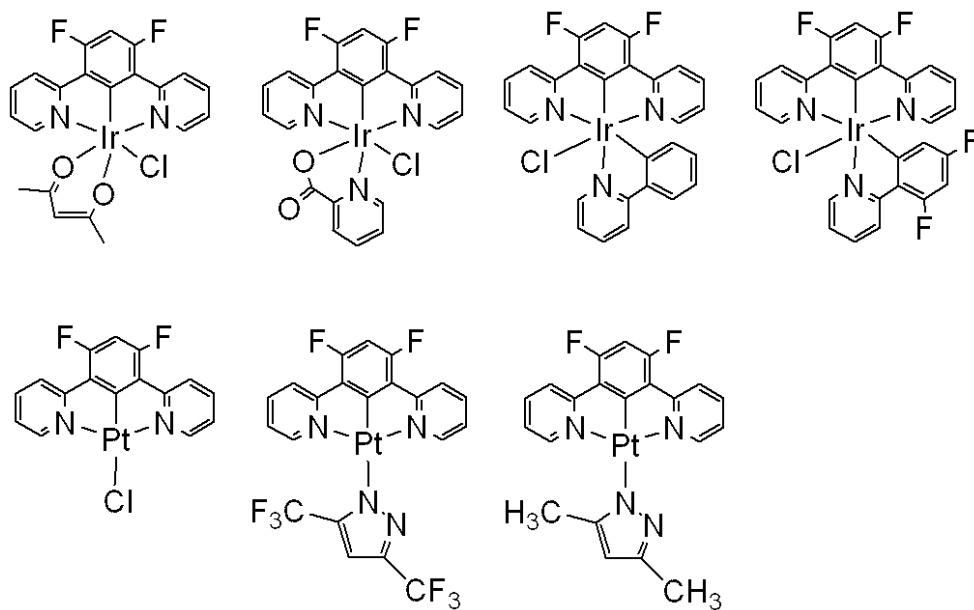
【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【化 1】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

本発明の金属錯体の具体例を以下に示す。尚、以下に示される具体例のうち、No. 201 ~ 204 及び No. 301 ~ 303 が本発明に該当する。